

取扱説明書 高品位ネッ トワーク・ カメラ

本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みのうえ、
後から参照できるように保管してください。

モデル

LNB7210 シリーズ
LNB5110 シリーズ
LND5110 シリーズ

LNV7210 シリーズ
LND7210 シリーズ

LNV5110R シリーズ
LND5110R シリーズ
LNU5110R シリーズ

LNV7210R シリーズ
LND7210R シリーズ
LNU7210R シリーズ



目次

ご使用前に	3
特徴一覧.....	3
操作と設定	4
システムを使用する前に.....	4
推奨されるPC要件.....	4
LG IP機器へのアクセス.....	5
LG Smart Web Viewerの概要.....	6
構成メニューの概要.....	7
LGネットワークカメラデバイスの構成.....	7
構成メニューへのアクセス.....	7
システム設定.....	8
オーディオ&ビデオ設定.....	11
ネットワーク設定.....	20
ユーザー設定.....	23
イベント設定.....	24
参照	28
トラブルシューティング.....	28
オープンソースソフトウェアの通知.....	29
仕様.....	30

ご使用の前に

LGネットワークカメラは、イーサネットネットワーク上で使用されるように設計されており、IPアドレスを割り当てて、アクセス可能にする必要があります。

このマニュアルでは、LGネットワークカメラを、お使いのネットワーク環境で設置および管理する手順について説明します。ネットワーク環境の知識が役に立つ場合があります。

品質改善のために本装備のデザインと性能はマニュアルと異なる場合があります。

技術的な支援が必要な場合には、認定サービスセンターにご連絡ください。

特徴一覧

この表は、モデルごとの違いを示しています。

項目	LNB7210	LNB5110
RS-485	あり	あり
ズーム	なし	なし
焦点	オートバックフォーカス (ABF)	なし
外部 デイナイト	あり	あり

項目	LND5110	LNV5110R	LND5110R	LNU5110R
RS-485	なし	なし	なし	なし
ズーム	あり	あり	あり	あり
焦点	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス
外部 デイナイト	あり	あり	あり	あり

項目	LNV7210	LNV7210R	LND7210	LND7210R	LNU7210R
RS-485	なし	なし	なし	なし	なし
ズーム	あり	あり	あり	あり	あり
焦点	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス
外部 デイナイト	あり	あり	あり	あり	あり

操作と設定

システムを使用する前に

- LG IP機器を使用する前に、接続が正しいことを確認し、適切な電源が使用されているかどうかを点検してください。
- LG IP機器の接続が正常な状態であることを確認してください。
- LG IP機器がネットワークに接続されていること、および電力が供給されていることを確認してください。
- 接続が行われると、装置へのアクセスに使用するPCにLGクライアントプログラムをインストールする必要があります。LG IP機器に接続すると、LGスマートWebビュープログラムが自動的にインストールされます。LVi510およびLGスマートウェブビュープログラムはLGビデオサーバおよびLG IPカメラのネットワークプログラムです。
- Internet Explorerでストリーミングビデオを閲覧するには、ActiveXコントロールを許可するようにブラウザを設定します。「このWebサイトは'LG ELECTRONICS INC'からの'IPCam_Streamer.cab'アドオンをインストールしようとしています」というメッセージが表示された場合には、黄色のバーをクリックして、LGスマートWebビュープログラムをインストールしてください。ブラウザのズームを100%に設定してください。
- レイアウトおよびライブ表示ページは、OS (オペレーティングシステム) およびWebブラウザによって異なる場合があります。
- クライアントプログラムの実行中は、メモリ不足が生じる場合がありますため、他のアプリケーションを実行しないように注意が必要です。
- 携帯電話機のアプリで60fpsに設定すると、携帯電話機の性能によってフレームレートが低くなる場合があります。

推奨されるPC要件

LG IP機器は、ほとんどの標準OSおよびブラウザで使用することができます。

項目	要件
オペレーティングシステム	Windows XP Professional、Windows VISTA、Windows 7
CPU	Intel Core2 Quad Q6700 (2.66 GHz) 以上
Webブラウザ	Microsoft Internet Explorer (32 bit) 7.0 から 9.0
DirectX	DirectX 9.0c (Windows XP)、DirectX 11 (Windows Vista/7) 以上
メモリー	2 GB以上のRAM
グラフィックカード	256 MB以上のビデオRAM
解像度	2048 x 1536 (32ビットカラー) 以上

注意:

Windows 7の場合、「DirectX エンドユーザーランタイムWebインストーラ」をダウンロードし、インストールしてください。

"<http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=35>"

LG IP機器へのアクセス

次の手順に従ってLG IP機器にアクセスすることができます。

1. LVi510 プログラムをインストールし

LVi510 のご利用をお勧めします。
それ以外の場合は、LG IPデバイスのIPアドレスを検索するためにIPユーティリティ [Package>Tools>LG IP Utility Installer] をインストールしなければなりません。

2. IPユーティリティを使用して、LG IP機器を検出

IPユーティリティは、ネットワーク上のLG IP機器を自動的に検出して表示することができます。IPユーティリティは、MACアドレス、IPアドレス、モデル名などを表示します。

注意:

IPユーティリティを実行中のコンピュータは、LG IP機器と同じネットワークセグメント(物理サブネット)に存在する必要があります。

- 2.1 IPユーティリティプログラムを実行します。
- 2.2 [検索]ボタンをクリックするか、または機器検索メニューで[検索]オプションを選択します。
数秒後に、検出されたLG IP機器がIPユーティリティウィンドウに表示されます。

3. LGスマートWebビューアへのログイン

- 3.1 IPユーティリティを実行し、LG IP機器を検出します。
- 3.2 IPユーティリティウィンドウにLG IP機器が表示されたら、IPアドレスをダブルクリックするか、同じIPアドレスを右クリックして、「Webページに接続」を選択し、LGスマートWebビューアを開始します。「LGスマートWebビューア」にアクセスする際は、ログインウィンドウが現れます。ウィンドウの右上にあるドロップダウンリストから言語を選択してください。



- 3.3 ユーザー名とパスワードを入力します。(デフォルトの管理者のユーザー名とパスワードは「admin」ですので注意してください。)

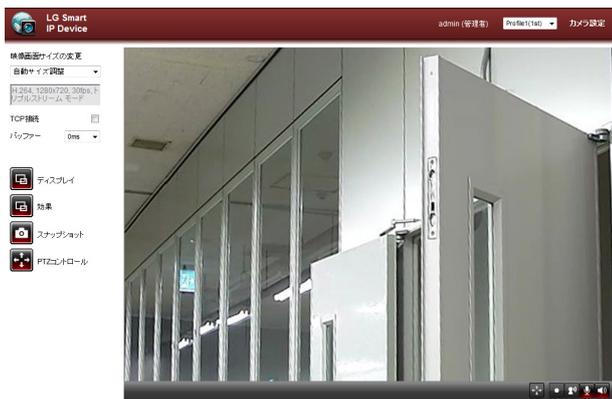
注意:

セキュリティ確保のため、最初に接続の際、デフォルトのパスワードを変更してください。

注意:

- 以下に示すように、LGスマートWebビューアにアクセスすることもできます。
 - 3.1 Webブラウザを開始します。
 - 3.2 ブラウザのアドレスバーに、LG IP機器のIPアドレスを入力します。
 - 3.3 管理者が設定したユーザー名とパスワードを入力します。
- [私の資格情報を記憶]を使用するためにブラウザークッキー設定を確認してください。
- LG Smart Web Viewerのアップデートが必要である場合、ネットワーク状態によってかかる時間が異なります。
- LGスマートWebビューアに最初に接続するときには、LGスマートWebビューアプログラムをインストールするためのセキュリティ警告ウィンドウが表示されます。LG IP機器を使用するには、LGスマートWebビューアプログラムをインストールする必要があります。
- プロキシまたはファイアウォールでコンピュータまたはネットワークが保護されている場合には、プロキシまたはファイアウォールの設定によってLGスマートWebビューアプログラムが拒否されることがあります。プロキシまたはファイアウォールの設定を変更して、LGスマートWebビューアプログラムを有効にしてください。

LG Smart Web Viewerの概要



項目	説明
映像画面サイズの変更 自動サイズ調整	ド롭ダウンリストから、ビデオ画像のサイズを選択します。(フルスクリーン / 自動サイズ調整 / x0.5 / x1 / x2 / D1 / CIF) 注意: <ul style="list-style-type: none"> モニターの全画面を拡大するには、[フルスクリーン]を押します。前の画面に戻るには、ESCキーを押すか、ダブルクリックします。 [自動サイズ調整]を選択すると、ライブビュー画面のサイズがウィンドウにフィットします。イメージアスペクト比は幅と高さを基本とします。 高解像度においてビューサイズオプションをより大きく変更すると、ブラウザ機能がスムーズに作動しなくなる場合があります。
MJPEG, 1280x720, 20fps, ピポット モード	ビデオコーデック、解像度、FPS、そして選択されたビデオストリームのプリセットモードを表示します。
TCP接続	ネットワーク接続の種類(TCPまたはUDP)によってこのオプションを選択してください。このオプションを選択した場合には、クライアントはTCP接続を使用してサーバーに接続します。
バッファ 0ms	ライブストリームのバッファタイムを選択します。
ディスプレイ	クリックして[ホスト名],[フレーム比率],[ビットレート]オプションのチェックボックスを表示してください。 [ディスプレイ]メニューの[位置]を選択してください。(左上・右上) 映像分析 <ul style="list-style-type: none"> > 隠す:ビデオ分析表示機能を使用しません。 > SVA:スマートビデオ分析機能をライブビューウィンドウに表示します。 > MD:動き検出機能をライブビューウィンドウに表示します。 注意: <ul style="list-style-type: none"> [ピポット]が活性化されている時、プロフィールが「プロフィール1」と同じコーデックに設定されていると「プロフィール2」、「プロフィール3」、「プロフィール4」のMDがオンとなります。 DPTZ機能をご使用になる場合、すべての表示機能は一時的に動作を停止します。

効果	効果をクリックし、[輪郭強調]オプションのチェックボックスをオンにします。ユーザーはライブビュー画面でより鮮明な画像を入手できます。 注意: この機能は、ライブビューウィンドウのみに影響します。
スナップショット	クリックして、現在の画像をJPEG形式でコンピュータ上に保存します。 1. [スナップショット]ボタンをクリックすると、スナップショットウィンドウが表示されます。 2. スナップショットウィンドウの[保存]ボタンをクリックします。 3. ファイル名(JPEG形式)を入力し、ファイルを保存するフォルダを選択します。 4. [保存]ボタンをクリックして、確定します。 5. スナップショットウィンドウの[キャンセル]ボタンをクリックして、終了します。 注意: 「スナップショット」ファイルのMDとSVAの領域は表示されません。
PTZコントロール	PTZ(PAN: パン / TILT: ティルト / ZOOM: ズーム)制御を表示します。このボタンを利用してPTZの装置を制御します。 注意: <ul style="list-style-type: none"> ズーム / フォーカスの調整は取付の際にのみ行うことをお勧めします。取付が終了した後にズーム / フォーカスを調整する場合、画面が変更され設定された機能が正常に働かない場合があります。 LNB7210 / LNB5110シリーズはPTZコントロールをサポートしません。LND5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R / LNU7210R シリーズはズーム・フォーカスのみサポートされます。
Profile1(1st)	ビデオストリームを選択します。ライブビューのド롭ダウンリストから、希望のビデオ画像を選択してください。 注意: 自由にストリーム設定をセットできます。これにより、ユーザーは好みに応じてライブ表示を設定することができます。
カメラ設定	要件に応じて、機器の設定に必要なツールすべてを提供します。これを実行するには、管理者レベルが必要です。 注意: 「設定」メニューを閉じる場合、「ライブビュード롭ダウンリスト」から一つのビデオストリームを選択するか、または「LG Smart IPデバイス」アイコンをクリックしてください。
	現在の監視ライブ画面が表示されます。LGスマートWebビューアのライブ表示ウィンドウ上のカメラ画像を監視することができます。

	このボタンをクリックし、DPTZ機能を使用するエリアをドラッグします。右クリックするとスクリーンは以前の倍率になります。 (カラーアイコン:オン、グレースケールアイコン:オフ。)
	<ol style="list-style-type: none"> このボタンをクリックしてフォルダブラウザウィンドウ開いてください。ボタンを次回再びクリックすると、ビデオはフォルダを選択しなくても自動的に録画されます。 注意: <ul style="list-style-type: none"> フォルダを変更したい場合は、他のページに移動するかリフレッシュボタンを押してください。 プロフィールが変更されると、新しい経路のフォルダが選択されます。 録画ボタンが起動し、録画が開始します。 注意: 最大録画時間(1時間)や容量(1GB)を越えると、録画は自動的に警告とともに停止します。 録画を停止するには、録画中にこのボタンをクリックしてください。
	このボタンをクリックして、LG IP機器と接続先のPCの間のオーディオ通信を接続または切断します。 (カラーアイコン:オン、グレースケールアイコン:オフ。)
	このボタンをクリックして、コンピュータのマイクのオン/オフを切り替えます。 注意: 「イン」と「アウト」の両方のオーディオがオンとなっている場合、マイクの「オン・オフ」を選択することができます。 (カラーアイコン:オン、グレースケールアイコン:オフ。)
	このボタンをクリックして、コンピュータのスピーカーの音声のオン/オフを切り替えます。 (カラーアイコン:オン、グレースケールアイコン:オフ。)

構成メニューの概要

次の表はメニュー項目を示します。
画像構成は各モデルで異なります。

メインメニュー	サブメニュー	注意
システム	バージョン	
	日付と時間	
	維持管理	
	ストレージ	
	テキストオーバーレイ	
	ログ&レポート	
	言語	
オーディオ & ビデオ	カメラ	
	ストリーム	
	オーディオ	
	PTZ設定	オプション
	プリセット	オプション
ネットワーク	基本設定	
	RTP ストリーム	
	TCP/IP	
	DDNS	
	IP フィルタリング	
	SNMP	
	QoS	
	802.1x	
ユーザー	基本設定	
イベント	イベントサーバー	
	センサー & リレー	
	モーション検知	
	音声検知	
	スマート分析	
	トリガーイベント	
	タイムスケジュール	

LGネットワークカメラデバイスの構成

LG IPカメラの機能とオプションは、構成メニューから設定されます。
構成メニューへのアクセスが許可されるのは、管理者レベルのユーザーのみです。

構成メニューへのアクセス

[カメラ設定]ボタンをクリックして、LGスマートWebビューア構成ウィンドウを表示します。

警告

構成設定は、資格のあるサービスマンまたはシステム設置業者が行ってください。

システム設定

バージョン

現在のモデル名、ソフトウェア、ISPおよびMCUバージョンを表示します。

日付と時間

標準時間帯

IP機器を設置する地域のGMTとの時差を設定します。

ドロップダウンリストから、IP機器を設置する地域のタイムゾーンを選択します。

時間設定

- > NTPサーバーと同期化:IP機器の日時を、NTP(ネットワークタイムプロトコル)と呼ばれるタイムサーバーの日時と同期する場合に、選択します。NTPサーバー名を指定します。[テスト]ボタンをクリックして、サーバーとの接続テストを行います。
- > ローカルサーバーと同期化:IP機器の日時をコンピュータの日時と同期する場合に、選択します。
- > 手動設定:IP機器の日時を手動で設定する場合に、選択します。カレンダーボタンをクリックして、年月日を選択します。編集ボックスで、時間、分、秒を設定します。

注意:

- 時間を設定した後にシステムを再起動すると、システム時間が遅延する場合があります。時間を正しく設定するには、[NTPサーバーと同期化]オプションを設定します。
- 録画サーバのオペレーションシステムとしてNTP設定を参照してください時に録画サーバの使用の記録機能とNTPサーバ。

サーバー時間

- > サーバー時間:IP機器の現在の日付と時刻が表示されます。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

維持管理

システム再起動

[再起動]ボタンをクリックして、IP機器を再起動します。IP機器が再起動するには数分かかります。

バックアップ&復元

- > バックアップ:すべての設定をバックアップします。必要に応じて、バックアップされた構成に戻ることができます。
 1. [バックアップ]ボタンをクリックします。
 2. [保存]ボタンをクリックします。
 3. フォルダを指定してブラウザの指示に従います。
 4. [保存]ボタンをクリックして、設定を保存します。
- > 復元:
 1. [Browse]ボタンをクリックします。
 2. 構成設定データが保存されているファイルを検索して開きます。
 3. [復元]ボタンをクリックすると、システム設定が復元され、システムは再起動します。

注意:

同じバージョンのファームウェアを持つIP機器で、バックアップおよび復元が実行される場合があります。この機能は、マルチ構成またはファームウェアの更新のためのものではありません。

ファームウェア

- > アップグレード
 1. [Browse]ボタンをクリックします。
 2. ファームウェアファイルを探して開きます。
 3. [アップグレード]ボタンをクリックして、ファームウェアを更新します。

注意:

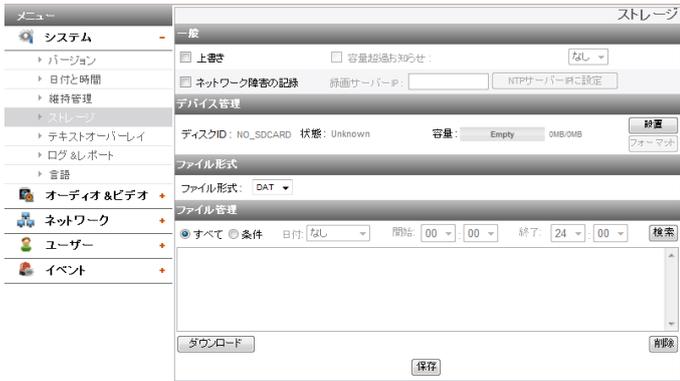
システムの更新が完了するまでに、数分かかる場合があります。更新の進行中は、ブラウザを閉じないでください。ブラウザを閉じると、障害が発生する場合があります。確認ウィンドウが表示されるまで待つ必要があります。更新が完了すると、確認ウィンドウが表示されます。

- > 初期化:[初期化]ボタンの使用には注意が必要です。[初期化]ボタンをクリックすると、IP機器の設定はすべて工場出荷時のデフォルト値に戻ります。ネットワーク設定、PTZプロトコル/初期設定値の場合を除く。(オプションは、モデルによって異なります。)

注意:

トラブルシューティングの「ブラウザキャッシュの削除」を参照してください。

ストレージ



一般

- > 上書き: micro SDカードに十分な容量がない場合にこのオプションが有効化されます。最も古いデータから上書きされます。
- > 容量超過お知らせ: micro SDカードの記録容量がいっぱいになると、SMTPサーバーに警告メールが送信されます。ドロップダウンリストからSMTPサーバーを選択します。この機能を設定するには、SMTPサーバーをイベントサーバー設定に登録する必要があります。
- > ネットワーク障害の記録: チェックボックスを選択して、micro SDカード記録機能を有効化します。システムが記録サーバーとともに作動しない場合、そのデータがmicro SDカードに記録されます。システムを記録サーバーに接続し直すと、micro SDカードに記録されたデータが記録サーバーに自動的に転送されます。
- > 録画サーバーIP: 記録サーバーIPを入力します。
- > NTPサーバーIPに設定: 入力した記録サーバーのIPをNTPサーバーIPとして使用するにはこのボタンをクリックします。

注意:

- 記録されたファイルの名称は自動的に"Created date of the file_[GMT Recording Time].DAT"タイプとなります。
- SDカードの容量が200MB未満の場合は、記録を停止するか、古いファイルを[上書き]設定で削除してから新しいファイルを上書きしてください。上書きされたファイルは再生できなかつたり、ダウンロード時に障害が発生する場合があります。
- ビデオコーデックがMJPEGに設定されている場合は、1秒につき1フレームでSDカードに記録されます。

デバイス管理

- > micro SDカードの使用
 1. micro SDカードを注意してカメラのカードスロットに挿入します。
 2. [設置]ボタンをクリックします。micro SDカードがシステムに正しくマウントされると、[設置]ボタンが[設置解除]ボタンに変わります。
 3. [ディスクID]、[状態]、[容量]というオプションの情報が表示されます。

注意:

- micro SDカードをマウントしたら、フォーマットします。micro SDカードのフォーマットが完了したら、[設置]ボタンを押すと使えるようになります。
- micro SDカードフォーマット機能は、すぐに開始されない場合があります。この場合は数分待つてから再度試してみてください。

- > micro SDカードを取り外す

1. [設置解除]ボタンをクリックします。micro SDカードがシステムから正しくマウント解除されると、[設置解除]ボタンが[設置]ボタンに変わります。
2. カメラのカードスロットからmicro SDカードを取り出します。

注意:

マウント解除機能は、すぐに開始されない場合があります。マウント解除機能を有効にするには、システムの記録やデータの読み込みなどの操作に停止時間が必要です。数秒待つてから再度試してみてください。

ファイル形式

- > ファイル形式: 録画ファイルのフォーマット (AVI、または DAT) を選択できます。録画、検索、ダウンロードは設定次第でご利用になれます。

注意:

- SD録画、またはFTP (ビデオ) 送信フォーマットは設定次第でセットされます。AVIを選択された場合、[オート録画機能]はネットワークエラーで起動しないことがあります。
- Windows Media Player、Mplayer等のDirectShowに基づいたプレーヤーにはIPカメラの時間が表示されます。

ファイル管理

micro SDカードの記録ファイルが一覧に表示されます。記録済みファイルを表示するには[検索]ボタンをクリックします。[検索]ボタンをクリックすると一覧が更新されます。

- > micro SDカードに記録されたファイルを表示する

1. 検索オプション選択します。
 - すべて: microSDカードに記録された全ファイルを検索します。
 - 条件: 日付および時刻オプションを使用すれば、検索条件を設定できます。
2. [検索]ボタンをクリックすると、検索結果が一覧に表示されます。

- > ダウンロード: 一覧の記録データをお手持ちのパソコンにダウンロードできます。一覧の記録済みファイルのいずれかを選択し、[ダウンロード]ボタンをクリックします。2つの確認ウィンドウが表示されます。記録済みファイル(*.DAT)と情報ファイル(*.INFO)すべてをダウンロードする必要があります。ファイル形式によってはAVIファイルとしてダウンロードすることができます。

注意:

- [上書き]機能を無効化してからファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。[上書き]機能が有効化されていて、micro SDカードの容量が不足している場合だと、ダウンロードするファイルが上書きされる可能性があります。
- ダウンロードしたファイルはLG Fileプレーヤーで再生できます。

- > 削除: SDカードからファイルを削除します。

- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。

テキストオーバーレイ



プレビュー

プレビューウィンドウで、カメラ画像をプレビューすることができます。

モード

- > 通常モード: [通常モード]を選択し、テキストオーバーレイオプションの通常の手順に従ってください。
- > 複数行モード: 更に多くのテキストオーバーレイ文字、色及びサイズを設定するには、[複数行モード]を選択します。保存されたテキストオーバーレイは、画面の左上に表示されます。

基本設定

[通常モード]を選択すると、[日付と時間]、[テキスト情報]、[X位置]、[Y位置]及び[ユーザータイトル]の機能を調整できます。その他の機能に関しては、[複数行モード]を選択して調整することができます。

- > 日付と時間: [日付と時間]のチェックボックスをクリックして、クライアントPCの日付と時刻を表示します。
- > テキスト情報: テキストフィールドに文字を入力してください。([テキスト1]から[テキスト2]まで)最大入力文字は、解像度により異なります。
 - LND5110 / LNB5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R シリーズ

キャプチャモード	列	行
16:9	24	12
4:3 または 5:4	24	16

- LNB7210 / LNV7210 / LND7210 / LNV7210R / LND7210R / LNU7210R シリーズ

列	行
27	13

- > X位置: 各テキストオーバーレイの水平方向の位置を設定します。
- > Y位置: 各テキストオーバーレイの垂直位置を設定します。
- > ユーザータイトル: ユーザータイトルを入力します。ユーザータイトルが画面の右下に表示されます。



- > 複数行のテキスト: テキストフィールドに文字を入力してください。最大入力文字は、解像度によって異なります。

- LND5110 / LNB5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R シリーズ

キャプチャモード	16:9		4:3 または 5:4	
フォントサイズ	列	行	列	行
0	32	12	32	16
1	32	12	32	16
2	24	12	24	16
3	18	9	18	12

- LNB7210 / LNV7210 / LND7210 / LNV7210R / LND7210R / LNU7210R シリーズ

フォントサイズ	列	行
0	32	16
1	32	16
2	32	16
3	27	13

- > 色: R.G.Bレベルを調整することによって、あらゆる色を作成できます。
- > サイズ: フォントサイズを調整できます。
- > 透明度: テキストの背景の透明度を調整することができます。

注意:

- [キャプチャモード]を変更した場合は、既存の文字が部分的に見られないことがあります。
- [複数行のテキスト]はワンオフ機能です。ブラウザを更新して、再びこのオプションを接続すると、[複数行のテキスト]のテキスト入力フィールドがクリアされますが、テキストオーバーレイのコンテンツは、ライブビュー画面上に残ります。
- 以下の機能を使用する場合は、テキストオーバーレイが[通常モード]に変更されます。:
[システム>維持管理>再起動],
[オーディオ&ビデオ>カメラ>インストール>キャプチャモード],
[オーディオ&ビデオ>カメラ>インストール>インストールプリセット],
[オーディオ&ビデオ>カメラ>インストール>WDR],
[オーディオ&ビデオ>カメラ>インストール>センサーフレーム数]
- テキストは背景場面とコーデック品質によってぼかして見える場合があります。この場合、テキストアリアを「スマートコーデック」に設定することができます。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

ログ&レポート



ログ&報告書状態

システムログにより、IP機器の状態のサマリーが提供されます。装置は、ファイル内のソフトウェア動作のデータを記録します。

- > ログ確認:このボタンをクリックして、システムログ情報を表示します。
 - ダウンロード:このボタンをクリックしてシステムのログ情報を見ます。
- > 報告書確認:このボタンをクリックして、システムのレポートを表示します。
 - ダウンロード:このボタンをクリックしてシステムのレポート情報を見ます。

注意:

ダウンロードされたファイルはUNIXタイプです。ファイルをMicrosoft Notepadで開くとファイルが全く改行を含んでいなかったかのような表示をします。

言語



言語リスト

LGスマートWebビューアの構成メニューおよび情報の表示のための言語を選択します。

- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

オーディオ&ビデオ設定

カメラ

プレビュー

(LNB7210/LNB5110 シリーズのみ)

プレビューウィンドウで、カメラ画像をプレビューすることができます。

注意:

プレビュースクリーンはモデルによって異なる場合があります。

プレビュー

(LND5110/LNV5110R/LND5110R/LNU5110R/LNV7210/LND7210/LNV7210R/LND7210R/LNU7210R シリーズのみ)

1. 矢印ボタンを使用して、希望のポイントまでカメラを移動させます。
2. ズーム、フォーカス、またはアイリスの各オプションを調整します。
3. 「パン」、「ティルト」、「ズーム」、または「フォーカス」段階オプションを設定します。(LND5110/LNV5110R/LND5110R/LNU5110R/LNU7210R シリーズはパンとティルト機能をサポートしません。)

注意:

- 焦点プッシュ: オートフォーカス動作の後の最終位置を保存する。
- [焦点プッシュ]を除き、レンズの位置は保存されません。電源をオフにしてからソフトウェアを再起動した場合、レンズは最終位置へは移動しない場合があります。
- 設定した数値だけ移動した後、方向キーを押してホールドすると、ボタンから指を離すまでカメラが動き続けます。設定されたステップ数値によって、PTZ移動が1秒間停まる場合があります。

インストール



- > インストールプリセット: ドロップダウンリストから「インストールプリセット」を選択してください。

注意:

- 「ピボットモード」を選択、または選択解除するたびに「プライバシーマスク」設定が初期化されます。
- ドロップダウンリストボックスの右上にマウスオーバーすることでプリセット設定の制約が表示されます。

インストールプリセット	センサフレームレート	ピボット	ビデオ出力	WDR	最大ストリーム
クワッドストリーム	25 または 30	オフ	オフ	オン/オフ	4
トリプルストリーム	25 または 30 (デフォルト)	オフ	NTSC/PAL/オフ	オン/オフ	3

ピボット	25 または 30	オン	オフ	オン / オフ	3
ハイフレーム	50 または 60	オフ	オフ	オフ	2

- > キャプチャモード (LND5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R / LNB5110 シリーズのみ): キャプチャモードを選択します。

キャプチャモード	解像度
16:9	1280 x 720
4:3 または 5:4	1280 x 1024

注意:

「キャプチャーモード」オプションを変更すると、OSDメニューの「プライバシー」設定が初期化されます。

- > センサーフレーム数: センサフレームレートを選択してください。

注意:

- FPS最大値は「センサフレームレート」の数値を超過することができません。
- 「インストールプリセット」設定によって、「ピボット」、「ビデオ出力」、「WDR」、「マックスストリームカウント」は制限されます。
- 「ピボットモード」を選択、または選択解除するたびに「イベント」メニューの「動きの検知」と「スマート分析」を再設定しなければなりません。
- > ビデオ出力: ドロップダウンリストからカメラのビデオ標準を選択してください。
- > WDR: WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能は、非常に条件の悪い照明に対処する場合に非常に有用です。暗い部分と明るい部分の両方をキャプチャでき、シーンにその違いを組み合わせることで、元のシーンと同様の非常にリアルな画像を生み出すことができます。

注意:

WDRが実行されている時、[ダイナミックレンジ]が起動され[最小シャッタースピード]が自動的に調整されます。

- > EIS: 画像スタビライザー機能により、低周波振動による画像の揺れの出現を最小化します。この機能は屋外監視に役立ちます。[揺れ防止]オプションを選択し、[オン]または[オフ]に設定します。
- > 画面反転: デジタル効果を選択できます。
 - ミラー: ミラー効果をオンにします。
 - 反転: 垂直方向に画像をフリップします。

注意:

- EISとピボット機能を実行するためにはビデオコーデック設定をH.264、または H.264_HIGHに設定しなければなりません。
- [インストールプリセット]、[センサフレームレート]、[WDR]の設定を変更する時、システムが再起動するか、またはビデオ接続が一時的に切れます。
- [ミラー]、「反転」機能を直ちに選択することができます。
- [ピボット]モードにおいて、「テキストオーバーレイ」は時計回り方向に90度角度で出力に回転されます。「ミラー」と「反転」から影響を受けません。
- インストール設定は「インストール」タブを入力する際にアップデートされます。
- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。
- 初期化: このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

フォーカス (LND5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R シリーズのみ)



- > モード: [フォーカス]メニュー上で[モード]オプションを選択した後、以下のモードを選択できます。
 - ズームトリガ: ズーム位置が変更された後、カメラは一度自動フォーカス調整を行います。手動フォーカス調整も可能です。
 - マニュアル: <, <<, >>, > ボタンを用いてフォーカス位置を手動で調整します。
 - 焦点プッシュ: フォーカスを調整するために当機能が自動的に起動されます。
 - 保存フォーカス: 当ボタンをクリックする際のズームとフォーカスの位置を保存します。カメラを再設定しても保存されているフォーカス位置に移動します。
 - フォーカスリセット: 異常作動が生じるか、または外部からの衝撃や他の原因によりカメラのフォーカスが外れた場合、当ボタンをクリックしてレンズを初期化して現在の位置に戻します。

注意:

- 取付の後、外部の衝撃によってフォーカスが歪んでしまう場合があります。この場合、レンズを初期化するために [フォーカスリセット] ボタンを押してください。
- <, <<, >>, > ボタンをクリックして狭い範囲内で一度移動します。移動範囲は >, >>, >>> ボタンの形によります。
- > デイナイト AF: 「昼・夜」モードが切り替えられると、AF機能を設定することができます。
 - 高/中/低: AF操作範囲の[高]、[中]、または[低]を選択します。[高]が選択されると、もっとも広いAF操作範囲が設定されます。
 - オフ: 「昼・夜」モードが切り替えられると、AF機能は使われません。
- > ナイト オフセット (LNV5110R / LND5110R / LNU5110R シリーズのみ): デイナイト機能の夜モードでフォーカスを手動で調整してください。ハンドルを動かすか、矢印ボタンを押して値を調整してください。

注意:

- 100は標準値です。数値が200に近いほど、フォーカス距離は遠くなり、0に近いほどフォーカス距離は近くなります。
- デイナイト機能が昼間モードに切り替えられるとフォーカスは以前の位置に戻ります。
- [デイナイトAF]機能でフォーカスを調整することが難しいときに、非常に効率的です。

フォーカス (LNB7210 シリーズのみ)



- > オート: [フォーカス]メニュー上で[オート]オプションを選択した後、以下のモードを選択できます。
 - 焦点プッシュ: フォーカスを調整するために当機能が自動的に起動されます。
 - フォーカスリセット: フォーカスの位置は工場出荷時のデフォルト位置となります。
 - マニュアル: < , << , <<< , > , >> または >>> ボタンを用いてフォーカス位置を手動で調整します。

注意:

- レンズを装着する際は、[フォーカスリセット]ボタンを押してフォーカスを再設定します。
- フォーカスをだまかに調整した後、[焦点プッシュ]ボタンを押してレンズのフォーカスを正確に調整します。
- > デイナイト AF: 「昼・夜」モードが切り替えられると、AF機能を設定することができます。
 - 高/中/低: AF操作範囲の[高]、[中]、または[低]を選択します。[高]が選択されると、もっとも広いAF操作範囲が設定されます。
 - オフ: 「昼・夜」モードが切り替えられると、AF機能は使われません。

フォーカス (LNV7210 / LND7210 / LNV7210R / LND7210R / LNU7210R シリーズのみ)



- > モード: [フォーカス]メニュー上で[モード]オプションを選択した後、以下のモードを選択できます。
 - ズームトリガ: ズーム位置が変更された後、カメラは一度自動フォーカス調整を行います。手動フォーカス調整も可能です。
 - マニュアル: < , << , <<< , > , >> または >>> ボタンを用いてフォーカス位置を手動で調整します。
 - 焦点プッシュ: フォーカスを調整するために当機能が自動的に起動されます。
 - 保存フォーカス: 当ボタンをクリックする際のズームとフォーカスの位置を保存します。カメラを再設定しても保存されているフォーカス位置に移動します。

- フォーカスリセット: 異常作動が生じるか、または外部からの衝撃や他の原因によりカメラのフォーカスが外れた場合、当ボタンをクリックしてレンズを初期化して現在の位置に戻します。

注意:

- 取付の後、外部の衝撃によってフォーカスが歪んでしまう場合があります。この場合、レンズを初期化するために [フォーカスリセット] ボタンを押してください。
- < , << , <<< , > , >> または >>> ボタンをクリックして狭い範囲内で一度移動します。移動範囲は > , >> , >>> ボタンの形によります。
- > デイナイト AF: AF機能でナイト&デイ機能を設定できます。
 - オン:オンに設定すると、ナイト&デイ機能が起動されている場合に、ABF機能が自動的に起動されます。
 - オフ:使用されていません。

注意:

- オートフォーカスが機能する間、次の場合にはフォーカス機能が働きません。
 1. 周りが暗すぎて対象物を区別することができない場合。
 2. 周辺の明るさが急に变化する場合。
 3. 対象物が遠すぎるか、または激しく動いている場合。
 4. イメージコントラストが低すぎる場合。
 5. 強い照明が前や後にある場合。
 6. カメラが外部の振動や衝撃によって揺れる場合。オートフォーカスの後にカメラのフォーカスが合わない場合、< , << , <<< , > , >> または >>> ボタンを用いて手動でフォーカスを調整してください。
- 上記の場合、「昼・夜」モードが切り替えられるとフォーカスが合わなくなります。この場合、[低]または[オフ]を選択することをお勧めします。
- 初期化:このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

露出モード



> アイリス: カメラ露出に合わせて希望する絞りの値を選択します。[露出モード]メニュー上の[アイリス]オプションを選択してから、値を選択します。

- オート: レンズの絞りが自動的に設定されます。
- マニュアル: 手動でIRISを調整するためにレンズを利用する時に当オプションを選択してください。

注意:

[マニュアル]を選択した時、IRISはフルオープン状態に固定されます。この場合、シャッターを用いて明るさを調整します。

> BLC: カメラの逆光補正機能により、コントラストの強い領域の可視性の問題が軽減されます。

注意:

[WDR]が[オン]と設定されている時、BLCは非活性化されます。

> ダイナミックレンジ: 明るくて鮮明なイメージを提供するために、イメージのコントラストを自動的に調整してください。

注意:

[WDR]が[オン]と設定されている時、[ダイナミックレンジ]の[オフ]オプションは非活性化されます。[WDR]のレベルを調整します。

> 曇りを取り除く: イメージのミストを除去するための数値を選択してください。

注意:

[WDR]がオンとなっている間に[曇りを取り除く]機能を実行すると、作動レベルの違いはなく、オン・オフのような小さい影響だけが生じます。(高/中/低)「WDR」には「デフォグ」の自動調整が含まれているからです。

> AGC: 画像が暗すぎる場合は、[AGC]の最大値を変更して画像を明るくします。

> 明るさモード: イメージの明るさを調整します。

> シャッタースピード: カメラの露出に希望のシャッタースピードを選択します。シャッタースピードを高速に変更すると、動きの早い物体を捉えることができますが、画像は暗くなります。

注意:

[WDR]が[オン]と設定されている時、[最小]は非活性化され自動的に調整されます。

最小シャッター	1/10 000	1/5 000	1/2 500	1/1 500	1/1 000
	1/700	1/500	1/480	1/400	1/360
	1/300	1/250	1/240	1/180	1/150
	1/120	1/100	1/60	1/50	1/30
最大シャッター	1/25				
	1/10 000	1/5 000	1/2 500	1/1 500	1/1 000
	1/700	1/500	1/480	1/400	1/360
	1/300	1/250	1/240	1/180	1/150
	1/120	1/100	1/60	1/50	1/30
	1/25	1/20	1/15	1/8	1/4
	1/2	2/3	1	1.5	2

> フリッカーレス: 蛍光灯によって発生するバンドノイズを除去します。

注意:

[アイリス]が[マニュアル]に設定されている時、周囲が明るいと、[フリッカーレス]に設定されていてもちらつきが見える場合があります。

この場合、[アイリス]を[オート]に設定してください。

- 初期化: このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

ホワイトバランス



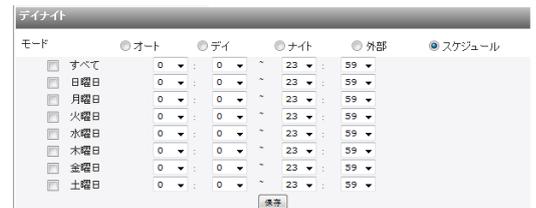
- > モード: [ホワイトバランス]メニュー上で[モード]オプションを選択した後、以下のモードを選択できます。
 - オート: フールイメーj区域のホワイトバランスを調整してください。特殊照明ランプが近くにある環境で当機能を用いてください。

注意:
白黒の物体がカメラに撮られた時、物体の色が褪せて見える場合があります。この場合、[ATW]モードに設定することをお勧めします。
 - マニュアル: ホワイトバランスオプションを手動で設定できます。[モード]オプションが[マニュアル]に設定されている場合、[レッド]と[ブルー]が表示されます。
 - ATW (オートトラッキングホワイトバランス): 白い区域を追跡してホワイトバランスを調整します。以下の環境である場合、適切に作動しない場合があります。
 1. シーンのほとんどに、青空や夕日などの色温度の高い物体が含まれる場合。
 2. シーンが薄暗い場合。
 - ワンプッシュ: [ワンプッシュ]モードを選択した場合、ホワイトバランスを自動設定できます。
- > レッド: 希望の赤の値を設定します。
- > ブルー: 希望の青の値を設定します。
- > 色温度: [モード]オプションが[ATW]に設定されている場合、当オプションが表示されます。クリックしてオプションを選択します。
 - 屋内: 室内環境に合わせてホワイトバランスを調整します。
 - 屋外: 屋外環境に合わせてホワイトバランスを調整します。
- 初期化: このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

デイナイト



- > モード: [デイナイト]メニュー上で[モード]オプションを選択した後、以下のモードを選択できます。
 - オート: [レベル]設定によって[デイナイト]モードを[オート]モードに変更されることがあります。
 - デイ: 常にカラーモードを維持します。
 - ナイト: 常に白黒モードを維持します。
 - 外部: 「昼・夜」モードは「アラームインポート」を用いて変換することができます。
 - スケジュール: 設定されている時間に「昼」モードで作動します。
- > 録画スケジュールを設定するには
 1. 「スケジュール」オプションを選択します。詳しいオプションが表示されます。



2. オプションのチェックボックスを選択してください。
 - すべて: 毎日設定されている時間に「デイ」モードで作動します。
 - 日曜日 - 土曜日: 日を設定することができます。選択されていない曜日には[オート]モードで作動します。
 - 保存: 当ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存してください。
- > レベル: 周辺の光に合わせて自動変換時間を調整します。[高]を選択すると、照度が最も低い時に転換されます。
- > ユーザーレベル: [レベル]オプションの[ユーザー]を選択すると、周辺の光に合わせて自動変換時間を調整することができます。左ハンドルは[ナイト >> デイ]の設定、そして右ハンドルは [デイ >> ナイト] の設定。
- > 切替タイム: 明るさの自動転換を維持するために時間を設定してください。

注意:

- [外部]モードに設定した場合、[トリガーイベント]の[センサー]機能が非活性化されます。
- [外部]モードの場合、[センサー & リレー > センサー]オプションを[使用]にしなければなりません。

- 「外部センサー」のタイプに合わせて[センサー]を設定してください。「デイナイト」モードは下の表の通りに変換されます。

センサータイプ	アラーム	モード
ノーマルオープン	高	デイ
	低	ナイト
ノーマルクロース	高	ナイト
	低	デイ

- [デイ >> ナイト]と[ナイト >> デイ]の設定値の差が十分に大きくなければ、「昼」と「夜」の転換に問題が生じる場合があります。
- [AGC]を[オフ]に設定すると、[デイナイト]は[デイ]モードに初期化されます。[AGC]の他の設定は[オート]モードに初期化されます。
- 初期化:このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

スマートIR (LNV7210R / LND7210R / LNU7210R シリーズのみ)



スマートIR (LNV5110R / LND5110R / LNU5110R シリーズのみ)



- > モード
 - オート: [デイナイト]メニューが[ナイト]モードにセットされている時は、IR LEDの明るさは自動的に調節されます。[レベル]が表示されます。
 - マニュアル: [デイナイト]メニューが[ナイト]モードに設定されていると、IR LEDの明るさ調整は固定される場合があります。
 - オフ: [デイナイト]メニューが[ナイト]モードにセットされている時は、IR LEDはオフになります。
- > レベル: [モード]オプションが[オート]に設定されていると、IR LEDの明るさが最大に調整される場合があります。
- 注意:**
[アイリス]を[マニュアル]に設定すると、[オート]モードは非活性化されます。
- > レベル: [モード]オプションが[マニュアル]に設定されていると、IR LEDの明るさの調整が固定される場合があります。
- 初期化:このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

画像



- > ノイズリダクション: ノイズのために写真がクリアでない場合、このオプションを使うと画像のノイズを低減できます。この機能を使用すると、残像が発生することがあります。
- > 色の濃さ: 色の強度を設定します。
- > 鮮明さ: 2つの部分の境界線を強調する度合。シャープネスを高い値に設定している場合、画像の輪郭ははっきりします。シャープネスを低い値に設定している場合、画像の輪郭はぼやけます。
- > プライバシーマスク
 - [追加]ボタンをクリックします。
 1. プレビュー画面をクリックすると、黄色の十字型ポイントが表示されます。
 2. もう一度クリックするともう一つのポイントが現れます。新しいポイントは空色の線で以前のポイントに連結されます。

注意:

- 4つのポイントを全て選択すると、区域が自動的に設定されます。
- プライバシーマスクを設定するためには、それぞれの4つの頂点が凸状でなければなりません。4つの頂点の中1つが凹区域を形成する内面である場合、「プライバシーマスク」区域は設定されません。
- 他のポイントの近くでマウスを右クリックすると該当のポイントがなくなります。
- 区域の設定は4つまでできます。
- 削除: 選択された領域を消去します。
- すべて削除: 全てのマスクゾーンを削除します。
- 保存: 「プライバシーマスク」の設定を保存します。

注意:

- プライバシーマスク設定を変更する場合、その適用には時間がかかります。[保存]ボタンをクリックして設定を保存します。
- [画像]タブが選択されると、「プライバシーマスク」部分がプレビューウィンドウに表示されます。
- [インストール]設定を終了した後、[プライバシーマスク]を設定してください。
- プライバシーマスクの設定部分は、パン・ティルト・ズームの操作による画面変更で維持されません。パン・ティルト・ズームを再設定する場合、プライバシーマスク設定部分を再設定する必要があります。
- [画面反転]が変更されると、[プライバシーマスク]設定が初期化されます。
- [EIS]と[プライバシーマスク]を同時に実行することはできません。
- 初期化: このボタンをクリックして、IP機器を工場出荷時の設定に復元します。

ストリーム



プロファイル

インストールプリセットによってストリーム[Profile1]、[Profile2]、[Profile3]、[Profile4]を選択してください。

注意:

現在のプリセットの右上にマウスオーバーすることで現在のプリセットによる制約が表示されます。

- LND5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R / LNB5110 シリーズ

プロファイル	Profile1	Profile2	Profile3	Profile4
クワッドストリーム	SXGA @ 30 fps	SXGA @ 30 fps	SXGA @ 30 fps	CIF @ 30 fps
トリプルストリーム	SXGA @ 30 fps	D1 @ 30 fps	SXGA @ 30 fps	N/A
ピボット	SXGA @ 30 fps	D1 @ 30 fps	CIF @ 30 fps	N/A
ハイフレーム	SXGA @ 60 fps	D1 @ 60 fps	N/A	N/A

- LNB7210 / LNV7210 / LND7210 / LNV7210R / LND7210R / LNU7210R シリーズ

プロファイル	Profile1	Profile2	Profile3	Profile4
クワッドストリーム	1 080P @ 30 fps	1 080P @ 15 fps	720P @ 30 fps	CIF @ 30fps
	1 080P @ 30 fps	720P @ 30 fps	720P @ 30 fps	CIF @ 30fps
トリプルストリーム	1 080P @ 30 fps	1 080P @ 15 fps	720P @ 30 fps	N/A
	1 080P @ 30 fps	720P @ 30 fps	720P @ 30 fps	N/A
ピボット	1 080P @ 30 fps	N/A	N/A	N/A
	1 080P @ 15 fps	720P @ 30 fps	CIF @ 30fps	N/A
	720P @ 30 fps	720P @ 30 fps	CIF @ 30fps	N/A
ハイフレーム	1 080P @ 60 fps	N/A	N/A	N/A
	720P @ 60 fps	D1 @ 60fps	N/A	N/A

- > 使用: クリックしてストリーム機能を起動します。
- > ビデオコーデック: ドロップダウンリストから、ビデオモード(コーデック)を選択します。ビューワーはMJPEG、H.264、およびH.264_HIGHの中から選ぶことができます。
- > 解像度: ドロップダウンリストから解像度を選択します。
- > 最大フレーム数: 画像のフレームレートを設定します。

注意:

サポートされる「フレームレート」は下の表をご参照ください。サポートされないフレームレートを入力すると、入力された数値より少ない「エンコーディングフレームレート」が適用されます。例えば、17fpsが入力されると、15fpsが適用されます。

エンコーディング フレームレート	センサフレームレート			
	60	50	30	25
60	○	N/A	N/A	N/A
50	○	○	N/A	N/A
30	○	○	○	N/A
25	○	○	○	○
20	○	○	○	○
15	○	○	○	○
10	○	○	○	○
5	○	○	○	○
4	○	○	○	○
3	○	○	○	○
2	○	○	○	○
1	○	○	○	○

- > GOPサイズ:「Group of Pictures (写真のグループ)」を意味します。GOPが高いほど、カメラのビデオ品質は良くなります。「プリセットのインストール」設定に合わせて1から60までのGOP数値を設定してください。設定は、H.264ビデオ形式にのみ有効です。
- > 品質:品質を選択します。
 - VBR:選択された品質を満たすためのビデオの複雑度によって、ビットレートが異なる場合があります。
 - CBR:コントラストのビットレートを維持するために、ビデオ品質が異なる場合があります。
- > スマートコーデック:「地域」、または「顔認識」を設定するために、特定区域のイメージを改善することができます。[エリア]オプションを選択すると、[スマートコーデック (エリア)]ウィンドウが活性化されます。

注意:

- ビデオコーデックが H.264、または H.264_HIGHである場合、「スマートコーデック」を選択することができます。
- 二つの領域が重なることができ、その重なる領域は全領域の30 %以下でなければなりません。
- スマートコーデックの設定部分は、パン・ティルト・ズームの操作による画面変更で維持されません。パン・ティルト・ズームを再設定する場合、スマートコーデック設定部分を再設定する必要があります。
- > ストリーム品質:[品質]オプションがVBRに設定されている場合に、このオプションが表示されます。ドロップダウンリストからストリーム品質を選択します。カメラは5種類(最高、高、中、低、最低)をサポートします。
- > ビットレート:[品質]オプションがCBRに設定されている場合に、このオプションが表示されます。プロファイルが [Profile1]に設定されると、ビットレートの設定値は 1 024 kbpsから10 240 kbpsまでに設定することができます。[Profile2], [Profile3], [Profile4]の場合、256 kbps から 10 240 kbpsまで設定することができます。

注意:

高解像度で「ビットレート」が非常に低く設定されている場合、帯域幅が狭いために実際のフレームレートは減少します。「ビットレート」を高い値に設定または変更する必要があります。

JPEGスナップショットの画質

- > スナップショットの画質: JPEGスナップショットの品質を選択します。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

オーディオ



オーディオ入力

- > 使用:マイク入力コネクタからオーディオを送信する場合には、チェックボックスをクリックします。
- 注意:**
IP機器に接続されたクライアントは、追加の設定変更には影響されません。
- > 入力端子: オーディオ入力のタイプを選択してください。(ライン入力, マイク)
- > 種類:オーディオエンコーディングのタイプを選択してください。(G711 PCMA, G711 PCMU, G726 24K, G726 32K)

オーディオ出力

- > 使用:スピーカーからオーディオを出力するには、チェックボックスをクリックします。

注意:

カメラとネットワークの状態によって、数秒遅延される場合があります。

- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

PTZ設定 (オプション)

カメラID	パン速度	チルト速度	ズーム速度	フォーカス速度
0 [0~255]	60 [0~127]	60 [0~127]	0 [0~3]	1 [1~3]

PTZプロトコルリスト

- > PTZプロトコル: 選択されたPTZプロトコルを表示します。

PTZ設定

- > カメラID: PTZデバイスIDを入力します。IDをPTZデバイスと同じにします。
- > パン速度: PTZ装置のパン速度を、編集ボックスに入力します。
- > チルト速度: PTZ装置のチルト速度を、編集ボックスに入力します。
- > ズーム速度: 近付いてまたは離れて物体を見るためのPTZ装置のズーム速度を入力します。
- > フォーカス速度: 近くまたは遠くで物体にはっきりと焦点を合わせるためのPTZ装置のフォーカス速度を入力します。

ポート

- > ボーレート: IPデバイスとPTZデバイス間の希望の通信速度を選択します。IPデバイスのボーレートに対して選択されたパラメータを確認します。
- > データビット: RS-485通信のためのデータビット数を設定します。
- > パリティ: 希望のパラメータを選択します。データに追加され、パリティチェックを実行するパリティビット。
- > 停止ビット: 希望するパラメータを入力します。非同期通信でデータの最後に追加されるストップビット。
- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。

プリセット (オプション)

プリセットインデックス	速度
0 [0~127]	60 [0~127]

プリセット

登録された事前設定位置を表示します。

1. 矢印ボタンを使用して、希望のポイントまでカメラを移動させます。
2. 「パン」、「チルト」、「ズーム」、または「フォーカス」段階オプションを設定します。
 - > 追加: クリックして事前設定位置を追加します。
 1. プリセットインデックスと速度を入力してください。
 2. [追加]ボタンをクリックします。
 - > 削除: クリックして事前設定位置を消去します。
 1. 一覧からイベントを選択します。
 2. [削除]ボタンをクリックします。事前設定が削除されます。
 - > プリセット移動: 事前設定位置へ移動します。
 1. 一覧からイベントを選択します。
 2. [プリセット移動]ボタンをクリックします。カメラは選択された事前設定へ移動します。

注意:

RS-485の接続状態に関わらず、[焦点プッシュ]と[保存]機能は常に利用できます。

ネットワーク設定

基本設定

メニュー	基本設定
システム	一般
オーディオ&ビデオ	MACアドレス: 98:93:CC:17:0B:BD
ネットワーク	ポート&暗号化
基本設定	ネットワーク暗号化: HTTP
RTPストリーム	スマートポート設定: オン
TCP/IP	UPNP状態: 待入出し中
DDNS	外部IP: 待入出し中
IPフィルタリング	ウェブポート: 80
SNMP	QoS: 80
QoS	RTSPポート: 554
802.1x	ARP ping: <input checked="" type="checkbox"/>
ユーザー	IPアドレス設定のためにARP ping使用可否: <input checked="" type="checkbox"/>
イベント	<input type="button" value="保存"/>

一般

- > MACアドレス: MACアドレスを表示します。

ポート&暗号化

- > ネットワーク暗号化: セキュリティのためのHTTPまたはHTTPSオプションを選択します。
- > スマートポート設定: 自動的にポート番号を割り当てるには、[オン]を選択します。

注意:

[オン]を選択した場合は、[UPNP状態]、[外部IP]、[ウェブポート]及び[RTSPポート]オプションは無効になります。

- > UPNP状態: UPNP機能がサポートされているルータを使用する場合は、[スマートポート設定]を使用すると自動的にポートフォワーディングを設定することができます。[UPNP状態]はルータの接続状態を表示します。
- > 外部IP: UPNP機能がサポートされているルータを接続する場合は、このオプションが表示されます。外部IPアドレスが割り当てられているルータを表示します。
- > ウェブポート: デフォルトのHTTPポート番号(80)は、1 025 から 65 535の範囲内の任意のポートに変更することができます。
- > RTSPポート: RTSPポートを確認します。デフォルトのポートは554です。1 025 から 65 535の範囲内のその他のポートを選択することができます。

注意:

RTSPポート番号は、Webポート番号と同じではいけません。

ARP Ping

- > IPアドレス設定のためにARP ping使用可否: チェックすると、ARP Pingを有効化します。
- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。

RTPストリーム

RTP (リアルタイムトランスポートプロトコル) は、マルチメディアデータをユニキャストまたはマルチキャスト経由で、リアルタイムに転送するための管理をプログラムに許可するインターネットプロトコルです。

メニュー	RTPストリーム
システム	プロファイル: Profile1(1st)
オーディオ&ビデオ	RTPユニキャスト
ネットワーク	RTPマルチキャスト
基本設定	IPv4アドレス: 239.255.214.42
RTPストリーム	基本RTPポート: 10000
TCP/IP	モーションコントロールFPS: <input checked="" type="checkbox"/>
DDNS	マルチキャスト
IPフィルタリング	第2マルチキャスト: <input type="checkbox"/>
SNMP	TTL: 7
QoS	802.1x: <input type="checkbox"/>
802.1x	ユーザー
ユーザー	IPフラグメンテーション: <input checked="" type="checkbox"/>
イベント	IPフラグメンテーション: <input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="button" value="保存"/>

プロファイル

- > RTPユニキャスト: 有効にすると、指定された機器へのデータの転送が、ネットワーク上で単一アドレスを指定して発生します。
- > RTPマルチキャスト: 有効にすると、同じセグメントネットワークのコンピュータが同じ転送データを受け取ることにより、カメラの転送負荷を減らします。マルチキャストオプションにチェックしてから、ビデオポート番号、オーディオポート番号、およびデータポート番号を選択します。
 - IPv4アドレス: RTPマルチキャストのIPアドレスを設定します。
 - 基本RTPポート: マルチキャストストリーミングに使用される偶数のポート番号を入力してください。プロフィールはそれぞれ[基本RTPポート]から始まる連続した6つのポート番号を使用します。10 000です。これを10 000から 65 530の範囲で編集することができます。
- > モーションコントロールFPS: 動きがある場合、「フレームレート」は自動的に調整されます。

注意:

- モーションコントロールFPSを作動するために、ビデオコーデック設定はH.264、または H.264_HIGHとなっていなければなりません。
- マルチキャストを使うプロフィールは、アドレス衝突を回避するためにそれぞれに、それ自身のマルチキャストIPアドレスとポート番号が必要です。2つ以上のプロフィールが同じマルチキャストIPアドレスを使う場合、[基本RTPポート]番号はそれぞれ、少なくとも6を超える別のポート番号と区別できなければなりません。

マルチキャスト

- > 常にマルチキャスト: クライアント接続状態に関係なく、マルチキャストにチェックを入れて有効にします。

TTL

- > TTL: このオプションは、マルチキャストパケットのTime-To-Live (有効期限)を示します。デフォルトの設定は7です。使用できるTTLの範囲は、1 から 255です。

IPフラグメンテーション

- > IPフラグメンテーション: IPフラグメンテーション起動をチェックします。VMSがIPフラグメンテーションをサポートしない場合、とう機能を解除してください。
- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。

TCP/IP

IPv4アドレス状態

- > DHCPで自動設定:DHCPサーバーがネットワーク上に設置されているときに、IPアドレスの割り当てを許可するには、このオプションを選択します。この設定によって、IPアドレスは自動的に割り当てられます。
 - IPアドレスが変更時はお知らせ:このオプションを選択すると、ユーザーは、IP機器のIP変更について、通知メールを受信します。

注意:

- この機能を設定するには、イベントサーバー設定に、SMTPサーバーを登録する必要があります。
- [DHCPで自動設定] を選択した場合、カメラはIPアドレスが「192.168.0.16」に設定された後、DHCPサーバーからカメラはIPアドレスを取得します。
- > 手動設定:固定IPアドレスを設定したときには、このオプションを選択します。この設定では、IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイを手動で指定します。
 - IPv4アドレス:IPアドレスを入力します。
 - サブネットマスク:サブネットマスクのアドレスを入力します。
 - ゲートウェイ:ゲートウェイのアドレスを入力します。

DNSサーバー状態

- > 主DNSサーバー:ホスト名をIPアドレスに変換するプライマリドメインネームサーバーを入力します。
- > 補助DNSサーバー:プライマリDNSをバックアップするセカンダリDNSサーバーアドレスを入力します。

IPv6アドレス状態

- > 使用: IPv6アドレスを使用したいときはこのチェックボックスをクリックします。
- > モード
 - 手動: IPアドレスを手動で固定したいときはこのオプションを選択します。
 - 基本: このオプションを選択するとMACアドレスを基にしてIPv6アドレスが割り当てられます。この設定によって、IPアドレスは自動的に割り当てられます。
 - DHCPv6: ネットワークにDHCPv6サーバがあるときはこのオプションを選択します。DHCPv6がないか、または一時的に使用できないときは3分ごとに割り当てを要求します。
- > IPv6アドレス: 手動モードを選択したときはIPアドレスを入力できます。不正なIPアドレスを入力すると警告します。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

DDNS

このフリーサービスは、LG DDNSサーバーと組み合わせると非常に役に立ちます。IPアドレスではなく、URLを使用してIP機器に接続することができます。また、動的IPアドレスを持つ問題も解決します。

DDNS状態

- > DDNS使用しない.:DDNS機能を無効にします。
- > DDNS使用:DDNS機能を有効にします。
 - プロバイダー:DDNSプロバイダを表示します。
 - ホスト名 :使用するホスト名を入力します。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

IPフィルタリング

リストのIPアドレスのアクセスは、Basic policy (基本ポリシー) オプションのドロップダウンリストでの選択に従って、許可または拒否されます。管理者は最高10のIPアドレスエントリをリストに追加することができます(1つのエントリに複数のIPアドレスを含むことができます)。これらのIPアドレスからのユーザーは、適切なアクセス権限を付けてユーザーリストに指定する必要があります。IPリストは、クライアントのIPアドレスを確認して、クライアントのアクセス許可をコントロールします。

IPリスト

- > 基本ポリシー:基本ポリシーの種類を選択します。
 - すべて許可:基本的にすべてのIPアドレスを許可します。ただし、リストのIPアドレスは拒否されます。
 - すべて否定:基本的にすべてのIPアドレスを拒否します。ただし、リストのIPアドレスは許可されます。この機能を有効にするには、1つ以上のIPアドレスが必要です。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。
- 追加:このボタンをクリックしてIPアドレスを追加します。
 1. [追加]ボタンをクリックします。
 2. IPオプションを設定します。
 - 名前:エイリアスを入力します。
 - 開始:IPフィルタリングの開始IPアドレスを入力します。
 - 終わり:IPフィルタリングの終了IPアドレスを入力します。

注意:

拒否または許可するIPアドレスの範囲を指定するには、[開始]に開始IPアドレスを入力し、[終わり]に終了IPアドレスを入力します。[開始]と[終わり]に同じIPアドレスを入力して、IPアドレスを追加することもできます。

3. [保存]ボタンをクリックします。
 4. 手順1 から 3を繰り返すと、IPアドレスを追加できます。
- 削除:このボタンをクリックしてIPアドレスを削除します。
 1. リストからエイリアスを選択します。
 2. [削除]ボタンをクリックします。IPアドレスが削除されます。

IPv6アドレス

- 追加:このボタンをクリックしてIPアドレスを追加します。
 1. [追加]ボタンをクリックします。
 2. IPオプションを設定します。
 - 名前:エイリアスを入力します。
 - IPv6アドレス:IPフィルタリングの開始IPアドレスを入力します。
 3. [保存]ボタンをクリックします。
 4. 手順1 から 3を繰り返すと、IPv6アドレスを追加できます。
- 削除:このボタンをクリックしてIPv6アドレスを削除します。
 1. リストからエイリアスを選択します。
 2. [削除]ボタンをクリックします。IPv6アドレスが削除されます。

SNMP

SNMP(簡単ネットワーク管理プロトコル)はネットワークデバイスの管理情報を交換するアプリケーションプロトコルです。



SNMP v1/v2c

- > 使用 SNMP v1/v2c: この装置へのアクセスをSNMPに許可するときを選択します。
- > Read Community: このシステムを読み取りたいSNMP管理コミュニティを特定します。
- > Write Community: このシステムを書きたいSNMP管理コミュニティを特定します。

SNMP v3

- > 使用 SNMP v3: この装置へのアクセスをSNMP v3に許可するときを選択します。認証および暗号化をサポートしています。
 - > SecurityName: SNMP用のセキュリティ名をタイプします。
 - > パスワード: SNMP用のパスワードをタイプします。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

QoS

ネットワークのサービス品質 (QoS) 設定を指定できます。



QoS DSCP 設定

- > ビデオ DSCP: DSCP (ディフサーブコードポイント)方式のQOSでの動画の優先度を入力してください。
 - > オーディオ DSCP: DSCP方式のQOSでの音声の優先度を入力してください。
 - > イベント DSCP: DSCPのサービス品質設定には、イベントの優先順位を入力します。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

802.1x

802.1xネットワークアクセスが有効になっているかどうかを指定します。



802.1x/EAP-TLSを使用するEAPOL

- > 使用: プロトコルを有効にするには、Onを選択します。現在の認証状態である802.1xポートが右ボタンに表示されます。

証明書

- > 証明書をアップロード、または削除するには
 1. [Browse]ボタンをクリックします。
 2. 証明書ファイルを探して開く。
 - 公認証明書: 公開鍵を含む認定証明書をアップロードします。
 - クライアント証明書: クライアント認証キーを含む認定証明書をアップロードします。
 - クライアントプライバシーキー: クライアント公開鍵を含む認定証明書をアップロードします。
 3. 証明書をインストールするには、[アップロード]ボタンをクリックしてください。
 4. 証明書を削除するには、[削除]ボタンをクリックしてください。

基本設定

- > EAPOLバージョン: EAPOLバージョンを選択します。
 - > EAP ID: 最高16文字までを使用して、クライアント証明書のIDを入力します。
 - > パスワード: 最高16文字までを使用して、クライアントの秘密鍵のパスワードを入力します。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

ユーザー設定

基本設定

IP機器は、管理者のみにログイン権限が付いた状態で出荷されま
す。構成を除くIP機器に、その他のユーザーがアクセスする必要が
ある場合は、ビューア権限を持つログインを作成する必要があります。
最大50ユーザーを作成することができます。



ユーザーリスト

> ユーザーの追加

さまざまなアクセス権限を持つ新規ユーザーを登録するこ
とができます。

1. [追加]ボタンをクリックします。ユーザー設定ダイアログ
が表示されます。
2. 新規のユーザーIDとパスワードを入力します。(4文字
以上が必要です。英数字の組み合わせが推奨されます)
。
3. パスワードを確定するには、パスワードボックスに入力
したパスワードを再入力します。
4. 権限のドロップダウンリストから各ユーザーに与えるア
クセス権限を選択し、[保存]をクリックして選択を確定し
ます。

- 管理者:設定メニューの操作およびライブ画像の表
示が許可されます。
- パワーユーザー:システムの機能の使用が制限され
ます。(構成メニューは許可されません。)パワーユ
ーザーは、ライブ表示、OSDコントロール、およびオ
ーディオ機能を使用することができます。
- ノーマルユーザー:最低レベルのアクセスが提供さ
れます。ライブ画像の表示のみが許可されます。
- 臨時ユーザー:"匿名接続有効"(匿名のログインを
有効にする)オプションがオンで有効になっている
場合のみ、ログインしてライブストリーム画像を
表示することができます。

注意:

- パスワードを忘れないでください。
- 接続権限によって表示される項目は以下の通り
です。

	管理者	パワーユ ーザー	ノーマルユ ーザー/ 臨時ユー ザー:
PTZ	○	○	X
DPTZ	○	○	X
REC	○	○	X
BI-AUD	○	○	X
MIC	○	○	X
スピーカー	○	○	X
設定	○	X	X

> 登録ユーザーの編集

パスワードまたは権限を変更することができます。

1. ユーザーIDを選択して、[編集]ボタンをクリックします。
2. パスワードまたは権限を変更して、[保存]ボタンをクリッ
クし、選択を確定します。

> 登録ユーザーの削除

1. 削除するユーザーIDを選択します。
2. [削除]ボタンをクリックします。

注意:

デフォルトの管理者ユーザーID「admin」および
「anonymous」は固定されているため削除できません。

匿名

> 匿名接続有効

匿名のログインを有効にするには、このボックスをオンにし
ます。ユーザーは、ライブストリーム画像の表示のみのアク
セスを許可されます。

同時接続可能な最大RTPストリーム数

> 同時接続可能な最大RTPストリーム数:

同時にストリーム接続を行う数を制限するには、この数字
を設定します。

接続は、次のストリーム構成による最大RTPストリーム接続
に示されるストリーム構成によって異なります。

- LND5110 / LNV5110R / LND5110R / LNU5110R /
LNB5110 シリーズ

ビデオコ ーデック	解像度	フレーム レート	品質	最大RTPス トリーム
H.264_ HIGH	1280 x 1024	30	HIGHEST	最大 20
H.264	1280 x 1024	30	HIGHEST	最大 20
MJPEG	1280 x 1024	10	HIGHEST	最大 14

- LNB7210 / LNV7210 / LND7210 /
LNV7210R / LND7210R / LNU7210R シリーズ

ビデオコ ーデック	解像度	フレーム レート	品質	最大RTPス トリーム
H.264_ HIGH	1920 x 1080	30	HIGHEST	最大 20
H.264	1920 x 1080	30	HIGHEST	最大 20
MJPEG	1920 x 1080	10	HIGHEST	最大 14

注意:

IP機器の設定と事前設定のプレビューウィンドウは、この設
定の影響を受けます。

- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

イベント設定

イベントサーバー

イベントサーバーは、録画されたビデオクリップや通知メッセージを受信するために使用されます。



FTPサーバーリスト

画像ファイルは、スケジュールされた時間内にFTPサーバーに転送されます。外部イベントにリンクされて記録されている画像ファイルは、定期的にFTPサーバーに送信されます。

- > FTPサーバーを追加するには
 1. [追加]ボタンをクリックします。FTPサーバー設定ウィンドウが表示されます。
 2. FTPサーバーのオプションを設定します。
 - 名前:FTPサーバー名を入力すると、画像ファイルがアップロードされます。
 - アドレス:FTPサーバーのIPアドレスを入力します。
 - ポート:ポート番号を入力します。デフォルトのFTPポートは21です。
 - ユーザーID:FTPサーバーで共有されるフォルダのユーザー名を入力します。
 - パスワード:FTPサーバーで共有されるフォルダのパスワードを入力します。
 - フォルダ:FTPサーバーで共有されるフォルダのパスのタイプを入力します。
 - テスト:[テスト]を選択して、FTPサーバーをテストします。
 3. [保存]ボタンをクリックして、設定を確定します。
- > FTPサーバーを編集するには
 1. FTPサーバーリストからFTPサーバーを選択します。
 2. [編集]ボタンをクリックします。FTPサーバーオプションを確認または編集できます。
- > FTPサーバーを削除するには
 1. FTPサーバーリストからFTPサーバーを選択します。
 2. [削除]ボタンをクリックします。これにより、FTPサーバーがリストから削除されます。

SMTPサーバーリスト

電子メールオプションを選択すると、イベントの静止画像がキャプチャされ、画像ファイルが添付されている電子メールが、指定したメールアドレスに送信されます。

- > SMTPサーバーを追加するには
 1. [追加]ボタンをクリックします。SMTPサーバー設定ウィンドウが表示されます。
 2. SMTPサーバーのオプションを設定します。
 - 名前:SMTPサーバー名を入力します。
 - ユーザーID:SMTPサーバーのユーザーIDを入力します。この操作は、メールアカウントを保有する人が行います。
 - パスワード:SMTPサーバーのパスワードを入力します。
 - アドレス:SMTPサーバーのアドレスを入力します。

- ポート:ポート番号を入力します。デフォルトのポート番号は25です。
- SSL使用:SSL (Secure Socket Layer)プロトコルを使用するとき、クリックします。SSLプロトコルは、ネットワーク上のセキュアな通信を提供する暗号プロトコルです。
- 受信アドレス:受信者の電子メールアドレスを入力します。指定できる電子メールアドレスは1つだけです。
- 管理者アドレス:管理者の電子メールアドレスを入力します。
- 題目:電子メールの件名/タイトルを入力します。
- 内容:このメッセージは、取得したIPアドレスなどの情報を記述できます。
- テスト:[テスト]を選択して、SMTPサーバーをテストします。

3. [保存]ボタンをクリックして、設定を確定します。

- > SMTPサーバーを編集するには
 1. SMTPサーバーリストからSMTPサーバーを選択します。
 2. [編集]ボタンをクリックします。SMTPサーバーオプションを確認または編集できます。
- > SMTPサーバーを削除するには
 1. SMTPサーバーリストからSMTPサーバーを選択します。
 2. [削除]ボタンをクリックします。

センサー&リレー



センサー

- > 使用:センサーを有効にするときにマークアップします。
- > 名前:サーバー名を表示します。
- > タイプ:センサータイプを選択します。

リレー

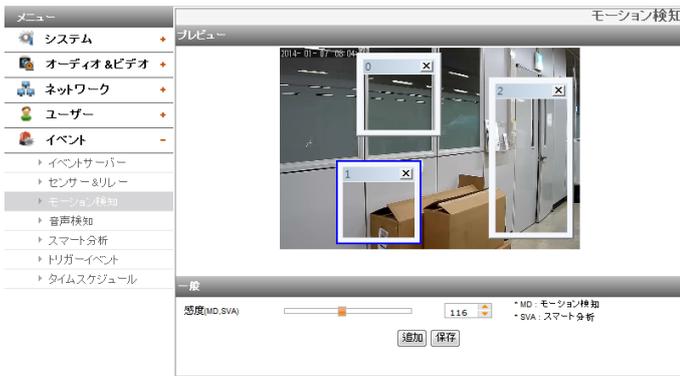
- > 制御時間:リレー時間を入力します。
- > 名前:リレー名を表示します。
- > タイプ:リレータイプを選択します。
- > リレー制御
 - 実行:クリックしてリレーを起動します。
 - 停止:クリックしてリレーを停止します。

- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

注意:

センサーとリレーの数は機種によって異なります。

モーション検知



プレビュー

プレビューウィンドウで、動き検知ウィンドウをプレビューすることができます。

一般

- > 感度: 動いている物体を検知する感度を編集します。
- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。

動き検知ウィンドウの設定方法

1. [追加]ボタンをクリックします。動き検知ウィンドウが表示されます。動き感知領域として追加できるのは最大3つまでです。
2. [感度]オプションを設定します。
3. ウィンドウボックスの端または角をクリックして、動き検知のウィンドウサイズを調整します。
4. [保存]ボタンをクリックして、設定を保存します。

注意:

- 作られたモーション感知領域ウィンドウが即時に同じ感度に適用されることとなります。
- 暗い照明、または動きの少ない環境において感度を高めます。逆に、明るい照明、または動きの多い環境において感度を低めます。
- インストール環境により、モーション検出機能が正常に働かない場合があります。
- 動きの検出の設定部分は、パン・ティルト・ズームの操作による画面変更で維持されません。パン・ティルト・ズームを再設定する場合、動きの検出の設定部分を再設定する必要があります。
- ウィンドウサイズはリセットすることができます。ウィンドウボックスの端または角の1つをクリックして、ドラッグ&ドロップし、動き検知の領域をリセットします。
- 動き検知は、チャンネルが1つ以上有効で、ビデオコーデックがH.264に設定され、GOPサイズが2以上の場合に動作します。

音声検知



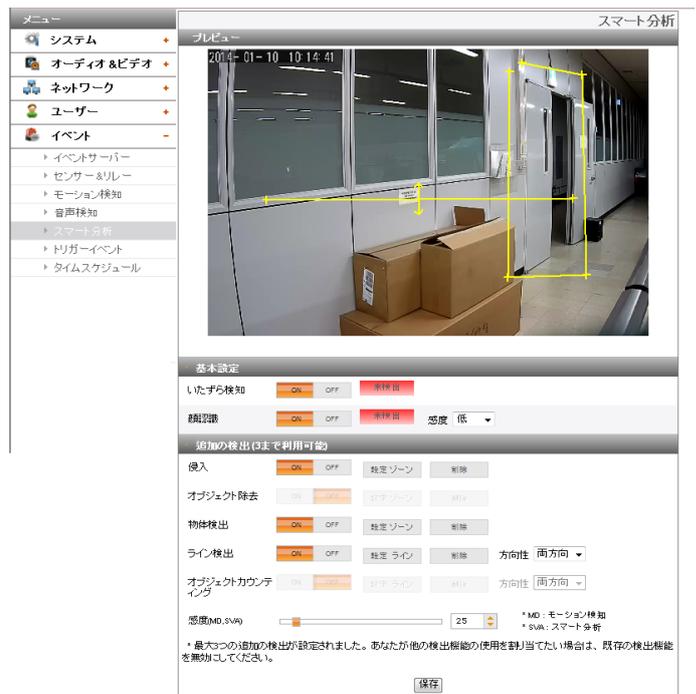
音声検知

- > 使用: [ON]、または[OFF]に設定できます。[ON]を選択すると、「基本設定」メニューが表示されます。

基本設定

- > レベル: ドロップダウンリストからオーディオ感知レベルを選択してください。ジョグコントロールを用いてレベルを選択することができます。ジョグコントロールを利用すると、[レベル]オプションが自動的に[マニュアル]に設定されます。
- > 入力グラフ: 25秒累積グラフの間、0.5秒の間隔で表示します。
- > ステータス: オーディオの感知結果を表示します。
- 保存: このボタンをクリックして設定を確認します。

スマート分析



プレビュー

プレビューウィンドウで、カメラ画像をプレビューすることができます。

基本設定

- > いたずら検知: スクリーン上の変化を感知し登録された「イベント」に合わせて作動します。
 - 使用: [ON]、または[OFF]に設定できます。
- > 顔認識: スクリーン上の認識された顔を感知し登録された「イベント」に合わせて作動します。
 - 使用: [ON]、または[OFF]に設定できます。
 - 感度: [感度]オプションを設定します。

注意:

数値が[最高]に近いと敏感に感知し、数値が[最低]に近いと低い感度で感知します。

追加の検出 (3まで利用可能)

- > 検知エリアの設定
- 1. ご希望のアルゴリズムを[ON]にします。
- 2. [設定ゾーン]または [設定ライン]ボタンをクリックします。
- 3. 画面上でマウス右クリックして検知区域を設定します。
 - 侵入:認識された物体がイベント区域に突入すると、侵入イベントは有効になります。
 - オブジェクト除去:物体が設定区域から消えると、物体除去イベントは有効になります。
 - 物体検出: 設定された区域に物が置かれると、「物体離脱イベント」が活性化されます。
 - ライン検出:認識された物体が設定線を通ると、クロスライン検知イベントは有効になります。
 - オブジェクトカウンティング:認識された物体が設定線を通ると、物体カウントイベントは有効になります。
- 4. [保存]ボタンをクリックして、設定を確定します。

注意:

- 3つまでアルゴリズムを選択することができます。
- 区域を三角形から八角形に設定することはできません。突出している多角形のみ設定できます。
- マウスを右クリックして区域設定を終了してください。八角形の場合、最後の点をクリックすると終了します。
- 区域設定の間、点の上でマウスを右クリックすると、該当の点が取り消されます。
- [侵入]、[オブジェクト除去]、[物体検出]アルゴリズムの場合、検知区域を選択することができ、[ライン検出]、[オブジェクトカウンティング]アルゴリズムは検知方向を設定することができます。
- 感知されたものがあると、テキストが感知設定の右側に表示されます。(「感知」、または「不感知」)
- 区域設定と[オブジェクト除去]や[物体検出]の活性化が終了すると、初期背景を設定するために10秒以内に検知が始まります。
- 検知された物体が10秒間同じ状態である場合、[オブジェクト除去]と[物体検出]が活性化されます。
- [オブジェクト除去]と[物体検出]は物体を背景として認識するために最長5分の時間がかかります。
- 設置環境によって、検知エラーやイメージ分析の性能低下が生じる場合があります。

トリガーイベント

イベント(映像分析/ モーション検知/ センサーイベント/音声検知)が発生すると、この装置は構成のライブイメージとルートを記録します。

メニュー		トリガーイベント					
システム		トリガーイベントリスト					
	トリガー	リレー	FTP(VIDEO)	SMTP	SDカード録画	FTP(JPEG)	
オーディオ & ビデオ	センサー	Relay-0					
ネットワーク	モーション検知						
ユーザー	オブジェクトカウンティング						
イベント	いたずら検知						
イベントサーバー	顔認識						
センサー & リレー	音声検知				使用		
モーション検知	侵入						
音声検知	ライン検出						
スマート分析	オブジェクト除去						
トリガーイベント	物体検出						
タイムスケジュール							

トリガーイベントリスト

- > イベントスケジュール編集するには
- 1. トリガーイベントを選択して、[編集]ボタンをクリックします。イベントスケジュールウィンドウが表示されます。
- 2. オプションを設定します。
 - トリガー:選択中のイベント駆動と現在の駆動状態を表示します。現在の駆動状態がオン、またはオフで表示されます。
 - 時間:平日、開始、終了、プリアラーム、ポストアラーム、および時間間隔を無視オプションを設定します。
 - 動作:オプションを選択します。イベントが実行されるとこれが生じます。
 - FTPサーバー/SMTPサーバー: FTPサーバーに画像をアップロード、または電子メール通知。
 - リレー制御:リレーが有効化または無効化されます。
 - SDカード録画: イベントの実行をSDカードに記録します。
 - カメラ移動 ([センサー]のLNB7210のみ): リレー有効時にプリセットの番号を入力すると、カメラは入力したプリセットまで動きます。
 - FTPサーバー(JPEG):JPEG画像をFTPサーバーに送信します。画像ファイルとサフィックス設定がご利用いただけます。日付/時間順、またはサフィックス順かを選択できます。
 - ストリーム:接続されたカメラのストリームを選択します。
- 3. [保存]ボタンをクリックして、設定を確定します。

注意:

- この機能を設定するには、Eventサーバーの設定でSMTPおよびFTPサーバーを登録する必要があります。
- 記録されたイベント(映像分析/ モーション検知/ センサーイベント/音声検知)は、5分ずつのファイルに分割されます。
- FTP(JPEG)変換の場合、ストリームは「プロフィール1(一番目)」が使われます。
- [デイナイト]メニューの[外部]モードが使われる場合、[センサー]は非活性化されます。

タイムスケジュール



有効化時間

- > 常時:FTPサーバーを使用し、起動時間に関係なく常時お使いになります。
- > 予約時間:設定時間と選択された曜日から録画を続けます。チャンネルを設定し希望する時刻に録画を行うために、マウスの左のボタンを使いドラッグアンドドロップします。

動作

下記のオプションを設定してください。

- > SDカード録画:イベント発生時にSDカードに録画します。SDカード録画のためにカメラストリームを選択してください。
- > FTPサーバー(JPEG):FTPサーバーに画像をアップロード、またはEメールを送信してください。画像の送信はベースファイル名ごとにするか、またはサフィックスごとにするかの設定ができます

注意:

- 曜日と時間を選ぶアクティベーションタイムテーブルをドラッグして選択できます。
- FTP(JPEG)変換の場合、ストリームは「プロフィール1(一番目)」が使われます。FTP(JPEG)の横のチェックボックスが常にチェックされていると、FTP(JPEG)は起動時間に関わらず、いつも起動しています。
- 保存:このボタンをクリックして設定を確認します。

トラブルシューティング

このセクションでは、LG IP機器に問題が発生した場合の解決に役に立つ情報を提供します。エラーの症状、考えられる原因および解決策を説明します。

IP設定の問題点

- ARP/Pingネットワークカメラの電源を抜き、再接続します。機器は2分以内にIPを取得します。
- カメラをpingします。コンピュータのコマンドプロンプトを開き、ネットワーク機器のIPアドレスのpingを入力します。このコマンドで取得された回答により、問題の原因が説明されます。
 1. bytes = 32 time = 2 msは、IPアドレスがすでに使用されているために、同じIPアドレスを再利用できないことを示します。新規のIPアドレスを取得する必要があります。
 2. Destination host unreachableは、ネットワーク機器とコンピュータが同じサブネットにないために、新規のIPアドレスを取得する必要があることを示します。サポートが必要な場合には、システム管理者にお問い合わせください。
 3. Request timed outは、IPが誰にも使用されていないためにフリーであることを示し、ネットワーク機器はこのIPを取得することができます。
- IP Conflicts:LGネットワーク機器が静的IPアドレスで設定され、DHCPオプションが設定されている場合には、ネットワーク機器および他のネットワークパートナーと同じIPがある可能性があります。静的IPアドレスを0.0.0.0に設定して競合を解決してください。

ブラウザからカメラにアクセスできない。

- ネットワークカメラを電源に再接続してping操作を実行し、IPが他に使用されているかどうかを確認します。
- プロキシサーバーを使用している場合には、ブラウザのプロキシ設定を無効にします。
- ケーブルおよびネットワークが適切に接続されているかを確認します。接続を確かめてからpingしてみます。
- HTTPSが有効になっているときは、httpのURLを確認してみます。この場合は、URLを手動でそれぞれhttp/httpsに変更します。
- ネットワーク機器にIPアドレスが静的に割り当てられている場合には、DNSおよびゲートウェイの設定を確認します。
- ご使用中のブラウザもしくは参照中のページに問題が表示されている場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてみてください。それでも問題が解決しない場合は、ブラウザのクッキーをクリアしてみてください。

外部カメラからローカルネットワークへのアクセス

- ファイアウォール保護:インターネットファイアウォールについて、ルーターのポート転送またはDMZ機能の変更を行う必要があるかどうかをシステム管理者に確認します。
- デフォルトのルーターが必要:ルータの設定を構成する必要があるかどうかを確認します。

不安定なネットワークパフォーマンス

- 使用されているネットワークスイッチまたはハブの構成が低く、この負荷がネットワークカメラの要件を満たしていない場合があります。
- ネットワーク接続に使用されているRJ-45ケーブルを確認します。
- PoEを使用している場合には、PoEに接続されているときに、ネットワークカメラに電力が供給されているかどうかを確認します。

ログインパスワードの喪失

- IPリセットとマルチハーネス上のGND端子を3秒以上短縮して、カメラをリセットし、初期設定に戻します。
- デフォルトのユーザー名とパスワードを使用して、工場出荷時の設定にログインします。

ビデオストリームの問題点

- ビデオストリームがWebブラウザで開始されない場合、Webブラウザの指示に従って、コンピュータにLG WebクライアントActiveXプログラムをインストールします。
- ActiveXのバージョンによってインターネットエクスプローラがイメージを正常に表示することができない場合があります。この場合、インターネットエクスプローラのActiveXに関する設定状態を確認してください。
- Windows IEブラウザを使用している場合、常にポップアップを許可することに注意してください。Webクライアントを実行する前に、このオプションを選択します。
- マニュアルのビデオ設定を参照して、画像の品質を確認します。
- ビデオストリームが断続的な場合や、非常に遅いことがある場合、この原因としては、ビデオに高解像度および高フレームレートが設定されていることが考えられます。
- ビデオストリームの表示が良くないことがある場合、この原因としては、ネットワークトラフィック、スイッチまたはハブに接続されている機器が多すぎる場合、すべてのビデオストリームで動き検知が有効化されている場合、コンピュータ上で他のプログラムが実行されている場合が考えられます。
- 画像の表示が不鮮明な場合には、ネットワークカメラの焦点を調整してクリアな画像を取得します。

- ・ ビデオ画像が白黒に表示される場合には、OSDの設定を調整してカラー画像を取得します。
- ・ 周囲の光が少ない場所や暗い場所にネットワークカメラが接続されている場合には、ナイトモードを選択します。
- ・ 設定よりも低いフレームレートを取得する場合には、十分な帯域幅が使用可能であるかをシステム管理者に確認するか、またはクライアントコンピュータ上で実行しているアプリケーションの数を減らす必要があります。
- ・ クライアントPCがマルチキャストストリームにアクセスできない場合は、システム管理者に有効なマルチキャストアドレスの使用について確認するか、またはルーターがマルチキャストをサポートしているかどうかを確認します。
- ・ 画像に白やグレーの線が表示される場合には、クライアントPCのビデオグラフィックドライバーを最新バージョンにアップグレードします。
- ・ 光の非常に少ない環境でカメラを使用している場合、またはビットレート/品質が非常に低い値に設定されている場合には、ビデオ画像にノイズが表れることがあります。品質を高い値に設定し、周囲の環境に十分な光を確保してください。

オーディオの状態

カメラと相互作用するクライアントコンピュータには、スピーカーおよびマイクに対応する機能を備えたサウンドカードが必要です。サウンドカードがフルデュプレックス通信をサポートしていることを確認してください。

クライアントコンピュータのミュートボタンが設定されていないこと、およびオーディオ設定がすべて正しいことを確認してください。ネットワークカメラの音声を聞くには、Webビューアのスピーカーボタンが有効になっている必要があります。

Webビューアで双方向のオーディオボタンが有効になっていること、およびマイクが設定されていることを確認してください。

マイクおよびスピーカーそれぞれの入力および出力ゲインを変更して、正しい音声レベルに設定します。

ブラウザの問題

ブラウザに問題がある場合、ブラウザウィンドウの[Refresh]ボタンを押してください。

ブラウザキャッシュの削除

- ・ お使いのブラウザがファームウェアのアップグレード後に正しく動作しない場合、以下のソリューションに従ってください。
- ・ 解決策: ブラウザキャッシュを削除すると、問題が解決されるかもしれません。
 1. ブラウザのツールメニューからインターネットオプションを開き、セカンドエントリ(インターネット一時ファイル)の[Delete Files]ボタンをクリックしてください。
 2. 変更してはならない他の設定を確認してください。
- ・ ご使用中のブラウザもしくは参照中のページに問題が表示されている場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてみてください。それでも問題が解決しない場合は、ブラウザのクッキーをクリアしてみてください。

RCA出力に関する問題

- ・ RCA出力は、初回インストールに使用します。
- ・ IPカメラの実際の使用に応じて、RCA出力映像がスムーズではない場合があります。これは、初回インストールのみに使用されます。

BNC出力の使用

BNCコネクタは、カメラの設置の便宜上のものであり、監視には適していません。

さらにサポートが必要な場合には、サプライヤーに連絡するか、フォーラムまたはWebサイトを参照してください。

オープンソースソフトウェアの通知

GPL, LGPL, MPL他のオープンソースライセンスの下でこの製品に含まれているソースコードを入手するには<http://opensource.lge.com>を参照してください。ソースコードの他に全てのライセンス事項、保証外事項、著作権通知などをダウンロードできます。opensource@lge.com宛てに電子メールで要求いただくとLG電子は配布に必要なコスト(媒体のコスト、出荷、取扱コスト)を含む有料でオープンソースコードをCD-ROMで提供します。この提供は製品ご購入後3年間有効です。

仕様

	項目	LNB7210 シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.4 mm (1/2.8 タイプ) CMOS
	レンズ	CS マウンダブル
	デイナイト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx (F1.2, Gain : High, 1/30 秒, 50 IRE)
		B/W: 0.003 lx (F1.2, Gain : High, 1/30 秒, 50 IRE)
	WDR	サポート
	フォーカス	ABF
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット	
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG
	解像度	1920 x 1080 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)
	最大フレームレート	60 fps @ 1920 x 1080
	マルチストリーミング	最大 4
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出
	テキストオーバーレイ	サポート
	音声圧縮	G.711, G.726
	2ウェイオーディオ	サポート
	音声検知	サポート
イベント	イベントトリガー	映像分析, 音声検知, アラーム入力
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プライベートバッファリング	サポート
インターフェイス	アナログアウト	RCAアウト
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力
	RS-485	サポート
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS)、IPフィルタリング、IEEE 802.1X
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)
接続	最大 20	
全般	電源	DC 12 V、PoE
	最大電力消費量	6.9 W
	最大入力電流	590 mA (DC 12 V), 150 mA (PoE)
	動作温度 / 動作湿度	-10 °C から 55 °C / 0 % RH から 80 % RH
	寸法 (幅×高さ×奥行)	69 mm x 54 mm x 136 mm
	重量	395 g

項目		LNB5110 シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.28 mm (1/3 タイプ) CMOS
	レンズ	CS マウンタブル
	デイナイト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx (F1.2, Gain : High, 1/30 秒, 50 IRE)
		B/W: 0.002 lx (F1.2, Gain : High, 1/30 秒, 50 IRE)
	WDR	サポート
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット	
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG
	解像度	1280 x 1024 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)
	最大フレームレート	60 fps @ 1280 x 1024
	マルチストリーミング	最大 4
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出
	テキストオーバーレイ	サポート
	音声圧縮	G.711, G.726
	2ウェイオーディオ	サポート
	音声検知	サポート
イベント	イベントトリガー	映像分析, 音声検知, アラーム入力
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プライベートバッファリング	サポート
インターフェイス	アナログアウト	RCAアウト
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力
	RS-485	サポート
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS)、IPフィルタリング、IEEE 802.1X
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)
接続	最大 20	
全般	電源	DC 12 V、PoE
	最大電力消費量	5.9 W
	最大入力電流	490 mA (DC 12 V), 130 mA (PoE)
	動作温度 / 動作湿度	-10 °C から 55 °C / 0 % RH から 80 % RH
	寸法 (幅×高さ×奥行)	69 mm x 54 mm x 122 mm
	重量	365 g

項目		LND5110 シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.28 mm (1/3 タイプ) CMOS
	レンズ	3 mm から 9 mm F1.2
	デイナイト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx (F1.2, Gain : High, 1/30 秒)
		B/W: 0.002 lx (F1.2, Gain : High, 1/30 秒)
	WDR	サポート
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット	
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG
	解像度	1280 x 1024 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)
	最大フレームレート	60 fps @ 1280 x 1024
	マルチストリーミング	最大 4
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出
	テキストオーバーレイ	サポート
	音声圧縮	G.711, G.726
	2ウェイオーディオ	サポート
	音声検知	サポート
イベント	イベントトリガー	映像分析, 音声検知, アラーム入力
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プライベートバッファリング	サポート
インターフェイス	アナログアウト	BNCアウト
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS), IPフィルタリング, IEEE 802.1X
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)
接続	最大 20	
全般	電源	DC 12 V, PoE
	最大電力消費量	5.9 W
	最大入力電流	490 mA (DC 12 V), 130 mA (PoE)
	動作温度 / 動作湿度	-10 °C から 55 °C / 0 % RH から 80 % RH
	寸法 (Ø x H)	140 mm x 122 mm
	重量	530 g

項目		LNV5110R シリーズ	LND5110R シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.28 mm (1/3 タイプ) CMOS	
	レンズ	3 mm から 9 mm F1.2	
	デイトライト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)	
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx @ F1.2 (1/30 秒, 50 IRE)	
		B/W: 0 lx @ IR LED オン	
	WDR	サポート	
	IR距離	30 m	
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット、スマートIR		
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG	
	解像度	1280 x 1024 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)	
	最大フレームレート	60 fps @ 1280 x 1024	
	マルチストリーミング	最大 4	
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)	
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出	
	テキストオーバーレイ	サポート	
	音声圧縮	G.711, G.726	
	2ウェイオーディオ	サポート	
	音声検知	サポート	
	イベント	イベントトリガー	映像分析, 音声検知, アラーム入力
イベント通知		リレー出力, 電子メール, FTP	
プリイベントバッファリング		サポート	
インターフェイス	アナログアウト	BNCアウト	
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力	
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力	
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)	
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T	
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS)、IPフィルタリング、IEEE 802.1X	
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1	
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP	
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)	
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)	
接続	最大 20		
全般	電源	DC 12 V, PoE	
	最大電力消費量	8.2 W	
	最大入力電流	610 mA (DC 12 V)、170 mA (PoE)	
	動作温度/ 動作湿度	-10 °C から 55 °C / 0 % RH から 80 % RH	
	保護	IK10, IP66	サポートなし
	寸法 (Ø x H)	140 mm x 122 mm	
	重量	905 g	550 g

項目		LNU5110R シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.28 mm (1/3 タイプ) CMOS
	レンズ	3 mm から 9 mm F1.2
	デイトライト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx @ F1.2 (1/30 秒, 50 IRE)
		B/W: 0 lx @ IR LED オン
	WDR	サポート
	IR距離	40 m
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット、スマートIR	
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG
	解像度	1280 x 1024 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)
	最大フレームレート	60 fps @ 1280 x 1024
	マルチストリーミング	最大 4
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出
	テキストオーバーレイ	サポート
	音声圧縮	G.711, G.726
	2ウェイオーディオ	サポート
	音声検知	サポート
	イベント	イベントトリガー
イベント通知		リレー出力, 電子メール, FTP
プリイベントバッファリング		サポート
インターフェイス	アナログアウト	BNCアウト
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS)、IPフィルタリング、IEEE 802.1X
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)
接続	最大 20	
全般	電源	AC 24 V、DC 12 V、PoE
	最大電力消費量	10.6 W
	最大入力電流	670 mA (AC 24 V)、750 mA (DC 12 V)、200 mA (PoE)
	動作温度/ 動作湿度	-10 °C から 55 °C / 0 % RH から 80 % RH
	保護	IK10, IP66
	寸法 (幅×高さ×奥行)	92 mm x 90 mm x 339 mm
	重量	1.54 kg (サンシールド付き 1.7 kg)

項目		LNV7210 シリーズ	LND7210 シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.4 mm (1/2.8 タイプ) CMOS	
	レンズ	3 mm から 9 mm F1.2 (x3 ズーム)	
	デイナイト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)	
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx @ F1.2 (1/30 秒, 50 IRE)	
		B/W: 0.003 lx @ F1.2 (1/30 秒, 50 IRE)	
	WDR	サポート	
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット		
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG	
	解像度	1920 x 1080 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)	
	最大フレームレート	60 fps @ 1920 x 1080	
	マルチストリーミング	最大 4	
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)	
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出	
	テキストオーバーレイ	サポート	
	音声圧縮	G.711, G.726	
	2ウェイオーディオ	サポート	
	音声検知	サポート	
イベント	イベントトリガー	映像分析, 音声検知, アラーム入力	
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP	
	プライベートバッファリング	サポート	
インターフェイス	アナログアウト	BNCアウト	
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力	
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力	
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)	
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T	
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS), IPフィルタリング, IEEE 802.1X	
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1	
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP	
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)	
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)	
接続	最大 20		
全般	電源	DC 12 V, PoE	
	最大電力消費量	8.7 W (DC 12 V)、10.4 W (PoE 48 V)	
	最大入力電流	730 mA (DC 12 V)、280 mA (PoE)	
	動作温度/ 動作湿度	-10 °C から 50 °C / 0 % RH から 80 % RH	
	保護	IK10, IP66	サポートなし
	寸法 (Ø x H)	140 mm x 122 mm	
	重量	950 g	613 g

項目		LNV7210R シリーズ	LND7210R シリーズ	
カメラ	イメージセンサー	6.4 mm (1/2.8 タイプ) CMOS		
	レンズ	3 mm から 9 mm F1.2 (x3 ズーム)		
	デイトライト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)		
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx @ F1.2 (1/30 秒, 50 IRE)		
		B/W: 0 lx @ IR LED オン		
	WDR	サポート		
	IR距離	20 m		
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット、スマートIR			
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG		
	解像度	1920 x 1080 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)		
	最大フレームレート	60 fps @ 1920 x 1080		
	マルチストリーミング	最大 4		
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)		
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出		
	テキストオーバーレイ	サポート		
	音声圧縮	G.711, G.726		
	2ウェイオーディオ	サポート		
	音声検知	サポート		
	イベント	イベントトリガー	映像分析, 音声検知, アラーム入力	
イベント通知		リレー出力, 電子メール, FTP		
プリイベントバッファリング		サポート		
インターフェイス	アナログアウト	BNCアウト		
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力		
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力		
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)		
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T		
	セキュリティ	パスワード保護、HTTPS (SSL, TLS), IPフィルタリング, IEEE 802.1X		
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1		
	プロトコル	IPv4 および IPv6: TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP		
		IPv4: FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)		
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)		
接続	最大 20			
全般	電源	DC 12 V, PoE		
	最大電力消費量	8.7 W (DC 12 V), 10.4 W (PoE 48 V)		
	最大入力電流	730 mA (DC 12 V), 280 mA (PoE)		
	動作温度/ 動作湿度	-10 °C から 50 °C / 0 % RH から 80 % RH		
	保護	IK10, IP66	サポートなし	
	寸法 (Ø x H)	140 mm x 122 mm		
	重量	957 g	620 g	

項目		LNU7210R シリーズ
カメラ	イメージセンサー	6.4 mm (1/2.8 タイプ) CMOS
	レンズ	3 mm から 9 mm F1.2 (x3 ズーム)
	デイナイト	ICR (オート / デイ / ナイト / 外部 / スケジュール)
	最小イルミネーション	色: 0.03 lx @ F1.2 (1/30 秒, 50 IRE)
		B/W: 0 lx @ IR LED オン
	WDR	サポート
	IR距離	30 m
イメージ拡張	逆光補正、2D+3D-DNR、曇りを取り除く、露出制御、AGC、ホワイトバランス、プライバシーマスキング、シャープネス、EIS、ピボット、スマートIR	
映像 / 音声	圧縮	H.264, H.264_High, MJPEG
	解像度	1920 x 1080 / 1280 x 720 / D1 (704 x 576) / CIF (352 x 240)
	最大フレームレート	60 fps @ 1920 x 1080
	マルチストリーミング	最大 4
	ROI (関連領域)	スマートコーデック (最大 8)
	映像分析	動き検知、警報アラーム、顔認識、侵入検知、ライン検出、オブジェクトカウンティング、オブジェクト除去、物体検出
	テキストオーバーレイ	サポート
	音声圧縮	G.711, G.726
	2ウェイオーディオ	サポート
	音声検知	サポート
	イベント	イベントトリガー
イベント通知		リレー出力, 電子メール, FTP
プリイベント バッファリング		サポート
インターフェイス	アナログアウト	BNCアウト
	オーディオ入力/出力	1 入力 / 1 出力
	アラーム入力/出力	1 入力 / 1 出力
	SDスロット	micro SD (最大 32 GB)
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護, HTTPS (SSL, TLS), IPフィルタリング, IEEE 802.1X
	オープンプロトコル	ONVIF 2.2 プロファイル S, PSIA 1.1
	プロトコル	IPv4 および IPv6 : TCP/IP, UDP, HTTP, HTTPS, RTP, RTSP, DHCP, ICMP, QoS, UPnP
		IPv4 : FTP, SMTP, NTP, ARP, SNMP v1/v2c/v3, DDNS(LG)
	内部ソフトウェア	LG Ipsolute VMSスイート / モバイルアプリケーション (iPhone, iPad, Android)
接続	最大 20	
全般	電源	AC 24 V, DC 12 V, PoE
	最大電力消費量	10.6 W (AC 24 V), 9.1 W (DC 12 V), 9.6 W (PoE)
	最大入力電流	670 mA (AC 24 V), 750 mA (DC 12 V), 200 mA (PoE)
	動作温度/ 動作湿度	-10 °C から 50 °C / 0 % RH から 80 % RH
	保護	IK10, IP66
	寸法 (幅×高さ×奥行)	92.1 mm x 89.8 mm x 338.6 mm
	重量	1.54 kg (サンシールド付き 1.7 kg)

